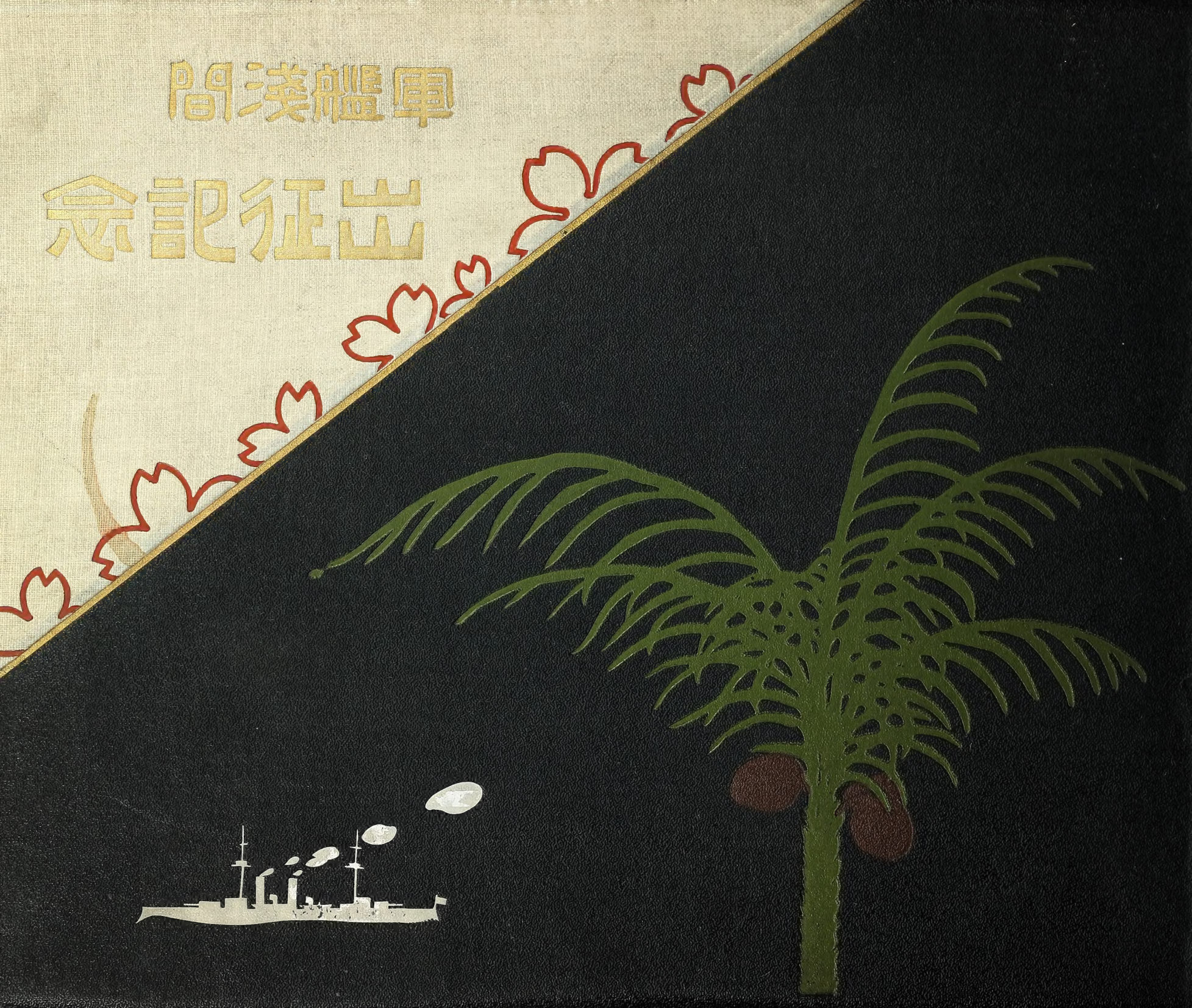


軍艦淺間

出征記念





VM  
383  
A83G85  
1916

CHENG YU TUNG  
EAST ASIAN LIBRARY  
UNIVERSITY OF TORONTO LIBRARY  
130 St. George Street  
8th FLOOR  
TORONTO, CANADA M5S 1A5






*Presented to the*  
LIBRARY of the  
UNIVERSITY OF TORONTO  
*by*

Mr. Yoriki Iwasaki





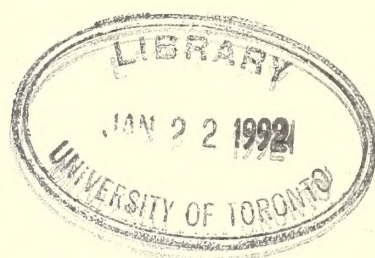
Digitized by the Internet Archive  
in 2018 with funding from  
University of Toronto

<https://archive.org/details/gunkanasamashuss008800>



庫體淺間少征記令







## 序

鵬程正に三萬里、赤道を過ぐるこゝ前後四回、航路東西兩半球に亘り、夕陽朝曦を波間に送迎するこゝ十有四ヶ月、萬難を排して然も一大奇禍に遭遇せる吾が淺間は、乗員一同の至誠と熱烈なる努力とにより、復舊作業功を奏して、再び其の英姿を故國の埠頭に現すを得たり。悲喜を艦に等うして、天涯萬里の旅程を経たる者、豈に萬感の胸臆に來往するこゝなからんや。

顧れば大正三年九月中旬、吾が淺間は、征獨の大命を拜して征途に上りぬ。時正に舉國敵愾の氣に充ち、乗員の昂然たる意氣、既に敵を併呑するの慨あり。初め南洋に航して敵の屬土に迫るや、獨領諸島風を望んで皇化に靡き、椰子林の梢頭高く、日章旗の翩翩たるを見るに至りて、吾が任務の一は遂げられたり。再び電命に接して急駛布哇に向ふや、太平洋上の敵艦、未だ戦はずして或は太西洋に走り、或は其の武装を解きて我に屈し、水天淼漫の洋上亦一の敵影なく、龍鬬虎搏の機を逸して、將卒徒らに脾肉の歎を洩らすに過ぎざりき。次いで凱歌を奏して北上の途次、時正に大正四年一月晦、解纜以來優勢健闘したりし吾が淺間は、運命の嫉視にや遇ひけん、墨國南岸サンバルトロメに於いて、未測の暗礁に觸れ、其の艦底を傷けられぬ。地は之れ故山を距るこゝ六千裡、荒寥無人の海濱。吾が淺間は遂に駛走の自由を奪はれて、巨體空しく靜座するの止むなきに至れり。嗚呼何たる悲愴事ぞや、夕陽西に没して墨國の暮色愴然たるの時、悲風更に斷腸、萬感交々至り、切に淺間の偉勳を追憶するのみ。嘗ては金剛峯下の哨戒に、徹宵、曉の白むを覺らず、或は日英艦隊の索敵行動、或は又、南米の岬頭、北米の山容、過ぎ來れる處、顧れば一として無限の感慨を誘はざるはなし。是に於てか、健兒六百、波濤と闘ひ、排水防水の作業に、日夜奮勵努力、苦心慘愴、艱苦を積む八閱月、今や世界の記録を破りて、曠古の難事を遂行し、再び淺間の雄姿



は、太平洋を横斷して母國の慈雨に潤ひ、懷かしき山川草木に接しめ。征獨一年の一浮一沈、悲喜交々臻る。豈に是れ海軍男兒の痛快事ならずとせんや。經來れる所、これを記臆の逸脫するまゝに委するに忍びず。茲に記念寫眞帖を編して乘員に頒ち、以て他日の追想に資せんとするの旨意、蓋し此に存すと云爾。

大正四年十二月

淺間記念帖編纂委員



軍艦淺間乘員名簿

[illegible]



同 同 同 同 同 乘

海軍一等兵曹

海軍二等兵曹

海軍三等兵曹

組

海軍機關兵曹長  
同  
同上等機關兵曹  
同  
同上等筆記  
同

池田武信  
松本謙治  
富田太一郎  
長岡三郎  
橫田亮爾  
島尾平七

海軍三等兵曹

梶原熊吉

中原實太郎

中津留生

藤井正光

岡本伊三郎

岩門奎二

中實喜作

盛實產藏

柴田豐次郎

好川馬吉

橋本正一

土江元市

山村九郎

長和健人

橫林健三

宮村秋平

若狹東策

大下嘉四郎

香川正吉

正田茂八

稻井憲太郎

前谷吉夫

兒玉開次

久延幸治

金森嘉平

楠本直吉

高橋良助

港中虎治

田中惣一郎

海軍二等船匠手

海軍一等機關兵曹

岡村喜一郎  
中道榮藏  
柳英男  
山内瀧四郎  
小島恕一  
村岡秀一  
稻葉茂一郎  
田中惣一郎  
港中虎治  
高橋良助  
楠本直吉  
金森嘉平  
久延幸治  
兒玉開次  
前谷吉夫  
稻井憲太郎  
正田茂八  
香川正吉  
大下嘉四郎  
若狹東策  
宮村秋平  
橫林健三  
長和健人  
山村九郎  
土江元市  
橋本正一  
好川馬吉  
柴田豐次郎  
盛實產藏  
中實喜作  
岩門奎二  
岡本伊三郎  
藤井正光  
中津留生  
中原實太郎  
梶原熊吉







海軍一等水兵

海軍二等水兵

吉良梅太郎

同 鎌田龜太郎

同 松本賢次郎

同 黒崎爲太郎

同 中尾敏雄

同 宗藤隆一

同 加能盛門

同 山中鶴治

同 津田正滿

同 杉上太

同 辰田秀一

同 石田新藏

同 朝田俊治

同 岡田新太郎

同 村上幾太郎

同 川上肇

同 白井松太郎

同 木村圓七

同 田中岩樹

同 宮尾圓馬

同 浦川小一郎

同 兼國九一

同 久保田鶴助

同 守中宗一

同 吉富鶴治

同 阿曾沼藤

同 山下常助

同 住田貝市

同 河南榮治

同 松岡久吉

同 林南榮太郎

同 松岡四郎

同 笹倉新太郎

同 中里八兵衛

同 古林新一郎

同 榎本正三

同 忽那信一

同 高村光次

同 山本伊作

同 中野義夫

同 橋本壽松

同 中山金太郎

同 武政道成

同 井手之上亮

同 土井千代吉

同 吉永芳惠

同 塚本壽義

同 森岡元一

同 向山繁爾

同 原田幾槌

同 性全一輔

同 上折達一

同 細國鷹二

同 渡邊基範

同 齋藤克己

同 秋山末次

同 坂三藏

同 秋山類造

同 鈴木清太郎

同 前北留治

同 柳澤岩

同 小池繁春

同 矢野常吉

同 棚田五郎

同 鞍馬清吉

同 河本幾清

同 植田常太郎

同 大木幾人

同 藤川源次郎

同 管林利介

同 今井末吉

同 沖中壽助

同 山井德松

同 高島津幸助

同 塚原豐作

同 長丸鐵之助

同 伊藤助三郎

同 南條敏一

同 馬詰政三

同 藤村茂市

同 有吉瀧三

海軍二等水兵



海軍三等水兵

[illegible]

向池森桑飛稻山鎌河高福松津寺萩山叶藤澤花片吉古松富加竹岡中富藤兼的的西三穴中酒小芝小榎山  
井田野島松塚本垣本松田本藏田田原根丸川山岡川村谷藤內村森尾竹場川吹澤井田原木科  
春石里茂倉孝太繁清太勝次鹿長太龜彌輝彌爲政好二直熊勘木留英末之正治逸熊策與福吉千伊三  
次郎郎一郎郎郎雄春郎吉郎一郎郎藏一磨七雄吉重競郎治夫一藏一郎郎助義郎男豐太雄吉藏吉郎代郎



海軍一等機關兵

大森喜代治郎	井上彌一郎	田中光明郎	山口米次郎	田淵芳輔	木谷寛郎	櫻井秀太郎	出島豐市	宇山時次	山本藤衛郎	増田彦太郎	演田只一郎	作本松太郎	筒井瀬次郎	多羅治平	澁谷宗一	矢野盛恕	佐光彌太郎	吉森五良一	奥卯三郎	角田恒二郎	飛驒九市	相馬時正	坂東龜三郎	氏永梅之進	柴田勇三	堀江文右衛門	三宅三九郎	高垣節一	内林千代藏	福原佐市	三野伊三郎	二神善四郎	谷義太郎	穴山喜八	中川譽一	中田嘉藏	重村唯二郎	岡田佐四郎	高木正祐	松森與次郎	菅尾鹿次	島田猛
--------	-------	-------	-------	------	------	-------	------	------	-------	-------	-------	-------	-------	------	------	------	-------	-------	------	-------	------	------	-------	-------	------	--------	-------	------	-------	------	-------	-------	------	------	------	------	-------	-------	------	-------	------	-----

寒川次郎	新谷勝助	須川菊之良	前田彦松	後藤末郎	櫻木彌太郎	河野梅吉	西幸太郎	永尾祥一郎	小林百太郎	相澤龜郎	萬德三郎	平橋伊太郎	小浦豐太郎	加藤藤房	荻山武一	加納新	高木有一郎	茅ヶ迫常太郎	要萬二	原谷金治	佐々木眞一	宅間淺作	松本清郎	寺口勝太郎	久保田茂十郎	高岡卯之助	山本晉松	高橋要次	築家喬平	前田昌成	澤田豐一郎	岡本四郎	住友友吉	上田平夫	津田茂次郎	福田綱次郎	後藤東松次郎	近藤喜三郎	三宅繁雄	中繁久吉	最田修藏	東眞作
------	------	-------	------	------	-------	------	------	-------	-------	------	------	-------	-------	------	------	-----	-------	--------	-----	------	-------	------	------	-------	--------	-------	------	------	------	------	-------	------	------	------	-------	-------	--------	-------	------	------	------	-----



海軍二等機關兵

[illegible]

井上俊三	松村平一	早川周三	福田幾松	島崎末太	羽川三郎	横川三郎	村岡文三郎	山本延三郎	山根省助	坂木直行	永田清光	犬石里治郎	小泉篤一	西所芳一	酒井清作	玉岡留吉	岸部常松	高瀬健一	葉田柳吉	長阪次郎	岩崎爲次郎	信原悅三郎	増原盛二	水口光次	久保一好	矢追彦郎	上甲資郎	前田廣美	岡本伊太	岡崎秀信	森憲太郎	坂口二一	岡本定吉	戸板正雄	斧山春美	土屋正衛	三好啓助	松下政好	松端治雄	江田米治	俵田政雄	江川貞治	大久保宇太郎
------	------	------	------	------	------	------	-------	-------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	-------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	--------



[illegible]

兼山饗竹福小倉野竹梅岩金西  
重村庭田井橋田森本本木本  
倉長正富三三輝正留三俊清  
一助吉藏郎郎三勇美一成藏次

洗	割	同	同	同	剃	同	同	同	給	從	海軍	海軍
濯											四等	三等
夫	烹				夫				仕	僕	主厨	主厨

東	芳	平	小	前	浦	吉	山	湯	白	村	辰	宮
	賀	川	林	川	郷	田	越	免	井	上	井	井
庄				歳		彌			才	貞	朝	龜
太	正	悦	絹	太	末	太	松	德	一	太	治	太
郎	秀	次	造	郎	雄	郎	吉	市	郎	郎	郎	郎

海軍	同	海軍		同	同	同	同	同	同	同	同	海軍	同	海軍
看護師	上等兵曹	同上等機關兵曹	機關少尉	同	同	同	同	同	少主計尉	中尉	少軍醫	少佐	少佐	

津留雄三	桑島新	堀田慎之	霜上正太郎	片岡覺太郎	澤田虎夫	古宇田武郎	藤井音四郎	平井龍吉	岸野兵衛	立野唯助	大崎市二	瀬尾邦孝
四年一月十七日	同	同	同 七月二十七日	三年十二月六日	同 十二月一日	同	同	同	四年三月二十九日	三年十月十七日	四年三月二十九日	同

孝	二	助	二	吉	郎	郎	夫	郎	郎	之	新	三
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
	四年三月二十九日	三年十月十七日	四年三月二十九日				同十二月一日	三年十二月六日	同七月二十七日			四年一月十七日

海軍一等水兵	久保田	護	三十五年十月
海軍三等水兵	平野	一平	同三十五年十月
海軍一等機關兵	藤山	彌一	同二十六日
海軍二等機關兵	大江	惣一	同十四年一月
海軍二等兵	守屋	熊一	同十八日
海軍三等兵	船谷	實之助	同二十日
同	德富	與作	同
同	叶本	千槌	同
海軍二等機關兵	近澤	春次	同
海軍三等廚宰	松本	丑松	同
海軍一等水兵	岡田	甚郎	同

同	同	同	海軍二等水兵	同	同	同	同	同	同
北野友吉 同	杉田嘉市 同	上野辰一 同	川口音四郎 同	末田武一 同	柳井義助 同	內海霞 同	藤塚末吉 同	田中石之丞 同	大崎元之助 同
重川理吉 四年二月									











軍艦淺間







員 總 間 淺







長副間淺郷南



長艦間淺岡吉







獨島領サクイ島古領  
同島酋長とその官令



獨島砲艦がイルエを監視する金剛峯下



陸戦隊の「トラツク」島上陸







「ルエルノ」港中央にある砲艦「エイエル」



（側東）側右口灣「メロトルバンサ」哥西堡  
「クツロ・シイフコ」「クツロ・アフルサ」「クツロ・スシラトンエ」りよ左



「ルエルノ」に於て武装解除せ  
「ルエルノ」砲艦「エイエル」







トニイボブルケ(側西)側左・口灣[メロトルパンサ]るく碎に斷不濤長



歳千・東關・間浅りよ左てつ向・む望を間浅るせ礁坐にか遙







(日四十二月三年四正火) 着來の東關船作工  
丸倉鎌・雲出・磐常・丸南彼・「ドイエ」船炭給英・間淺りよ右てつ向



(一 共) 鷗と鵜に二「シカリベ」に一鳥群の近附灣「メロトルバンサ」







(二 其)



(三 其)







む望な「ケービー」標目港入りよ間浅



境仙の内湾「メロトルマンサ」





浅間坐礁の状況



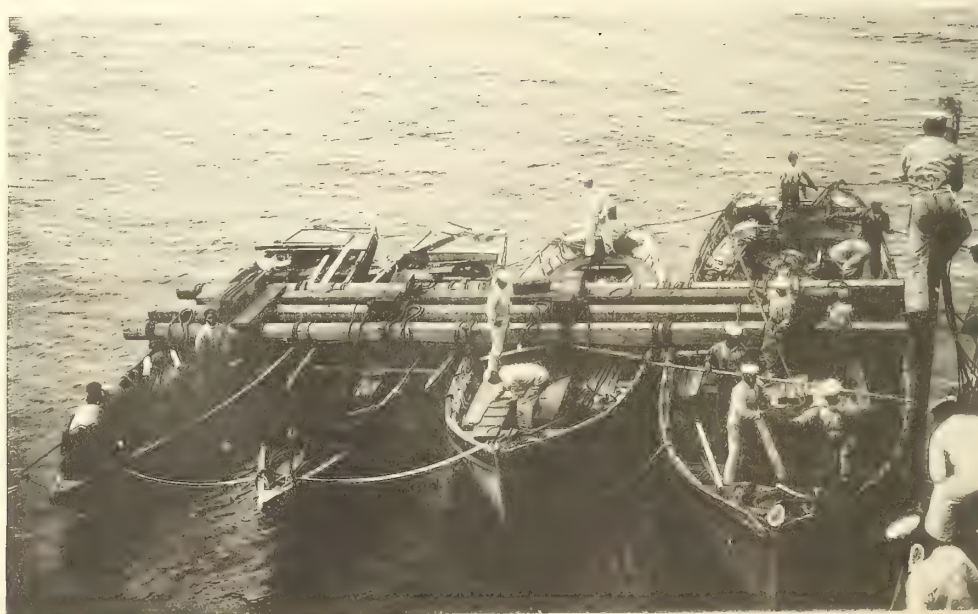
サバンパトルメ海に於ける千歳







東京關船作工は右てつ向ふ向に國母艦常

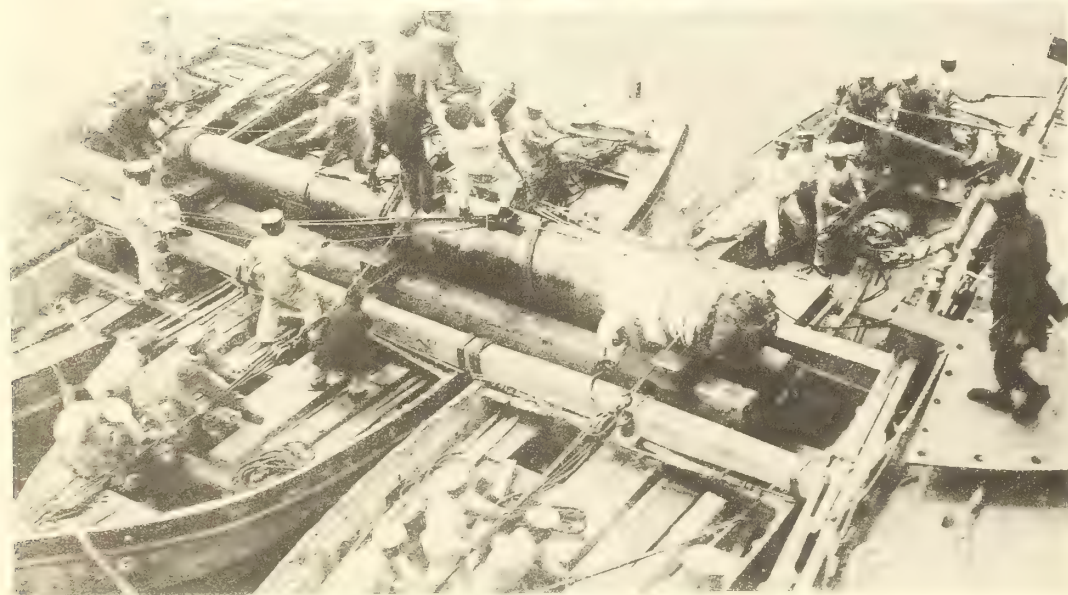


(一 其) 方 し 卸 砲 吋 八 部 後





(其 三)



(其 四)

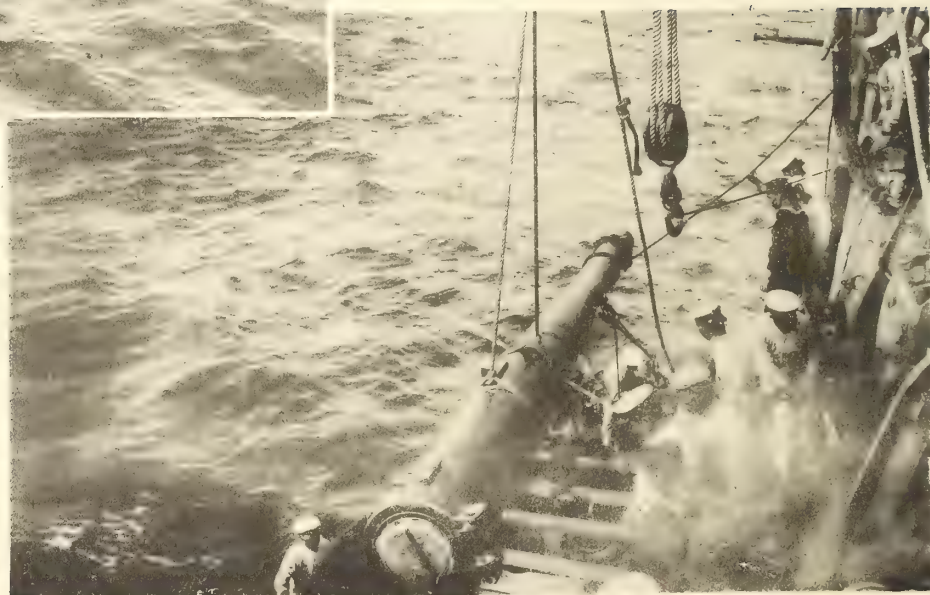


(其 二)  
後 八 部 時 砲 卸 方





(一 其) 方 し 卸 砲 吋 六



(二 其)







(二 其)



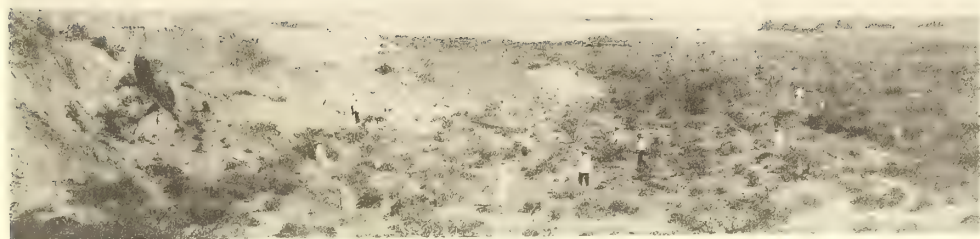
(一 其) 歩散の日半に山るた寥荒







(三 其)



(二 其)  
間 浅 東 關 右 へ 向



(一 其) 日 半 の 日 曜 日  
狩 兎





り 採 鮑



群 鮑

つ放な光の珠真ばけ磨ひ云と貝黒を稱通



(二 共)  
「ンテボヤシ」の大巨







(二 共)



(三 共)



るけ於に内灣メロトルバンサ  
(一 共) 業漁鮑の人邦







(一 共) 會動運上陸るけ於に「メロトルパンサ」



し (二 共) 探 子 親





(四 其)  
争 競 釣 殻 貝 の 官 士



引 網 (三 其)  
り な 酎 に 正 戦







(一 共) 長艦間淺岡吉るけ於に室公長艦



(二 共)  
産 土 洋 南







方り張幕天部後



時八前午





(二 其)



操 體 員 總 の 後 業 止  
東 關 船 作 工 は る 仰 見 に か 遙  
(一 其)







しせ示を氣意ぬば及も胞同・憎慘苦辛の月ヶ八  
間淺るせ礁坐はるゆ見に右・號ナレ船炭給軍海英



鍊鍛の神精人軍





すとなは向に國故て蹴を濤波の湮萬港出の號「レナ」



訪來の「トシケ」艦洋巡英





後 午 の 日 曜 日

(其  
二)



(其  
三)



撰 相 大 内 艦 (一 其)



(四 其)

「ドーヤリビキツテ」の官士





(二 其)  
方 げ 揚 物 濯 洗



(一 其) 濯 洗 服 被







(三 其)  
方 卸 物 濯 洗



士 勇 る たり 當 に 艇 哨 宵 徹 頭 灣 レ ル ノ ホ 1





(一 共) 目貫七十三量重・リ釣風石



動 出 の 歳 千







(三 其)



(二 其)  
リ 釣 風 石





(二 其)  
鰻



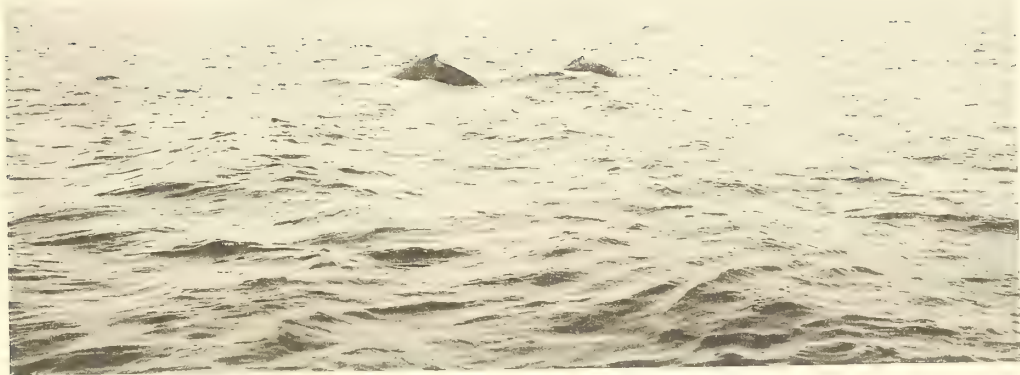
(三 其)  
坊 覺 正



(一 其) 漁 大  
鰻







(一 其) 〔灣メロトルバンサ〕於・鯨 巨



(四 其)  
坊 覺 正





口 (二 其)  
の 鯨 巨



す な を 群 豚 海







丸洋静るせ齋な品需食糧りよ地内



訪來の「ルスツカウニ」艦洋巡艦英るせ敵索同協に面方米南





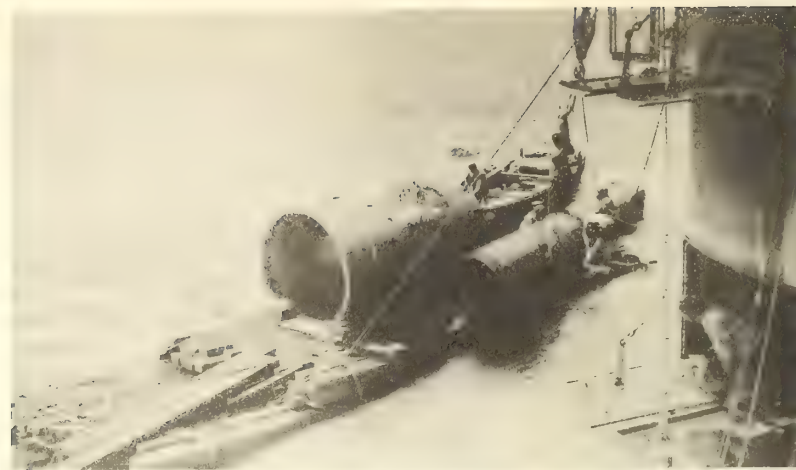
工船作東よ浅間汽罐を轉載す  
(一 其)







(二 其)



(四 其)



(三 其)





部一の所損底艦間淺  
(部起隆の底艦前錐號五十第)



(其) (時一後午日八月五) 水排大内艦







(三 其)



(二 其) 水 排 大 内 艦





時 瞬 の 礁 離 間 淺  
(分 五 十 四 時 四 後 午 日 八 月 五)



ふ 向 に 地 錨 新 て し 船 曳 東 關 後 礁 離 事 無 間 淺







業作急應の後礁離  
(一 其) 勵奮の夫水港



績繼水排大てに地錨新間淺





(四 其)



(三 其)



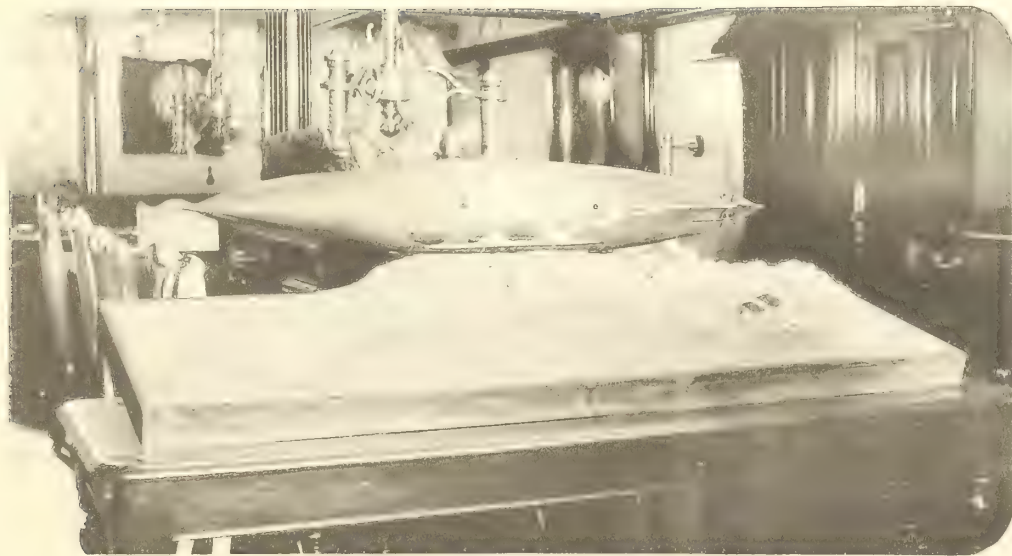
業作急應の後礁離  
(二其) 勵奮の夫水潜







方 入 ー ダ ー が に 底 盤



型 模 傷 損 底 盤 間 淺





(二 其)



(一 其) み 込 積 炭 石







(一 其) すとんら移に泊錨單り終な理修假



(二 其)





復 舊 せ る 浅 間



（前午日一十二月八）間浅我るすとんか就に途の轉運試り終工や今月ヶ七愴慘心苦







(一 其) 別 訣

すといた立旅に國故の里萬渺漂僚同るせに共を憂喜の多幾にしメロトルバした將に米南に洋南



(二 其)

港 出 け 向 に 賀 須 横 丸 南 彼 船 炭 給





に「トルマイカス」  
東關船作工るけ於



ら入に「トルマイカス」に將てし破踏事無を湮餘百五千  
山の米北はるゆ聳く遠・東關・歳千はく續・間浅るすとん



着港軍「トルマイカス」事無爲の理修假加追  
(前午日四月九)                      む望を衙官港軍







市「アクトクイザ」るせ陸上にり振年一



長廠工「トルマイカスエ」  
訪來の將少軍海「リートス」





街トシメバガ市リアリトクイヴ



廳政州亞比倫哥領英





ル デ ホ ス レ プ シ ャ



ク ー パ ジ ー ヨ ー 零 線







(一 其) レグーパジーマ



(二 其)  
後 午 の 曜 日





(其)  
店 茶 喫 の 營 經 人 邦



(一 其) [グーパルヒスンコービ]







(二 其)  
戲 嬉 の 女 少 年 少 後 午 の 曜 日



(三 其)





(一 共) 外郊[ヤリトクピ]



(三 共)



(二 共)





に左練教上陸るけ於に場兵練軍海港エ  
 (一 其) 兵水と官士軍海陀奈加はるて立



(二 其)







(一 其) 潜水艇短にレーベクーオ



(二 其)



(三 其)





合 動 運 大 上 陸 合 聯 英 日 港 し へ  
 (一 其)  
 す と ん ら ま 始 争 競 の 我 彼



(二 其)  
 し ス ー レ グ ツ サ ー る せ 勝 全







(三 其)  
引網るたし博を采喝手拍



(四 其)





(一 其) 参 墓

の君馬春野草生補候尉少軍海るたりなと身の歸不途の海航習練にてに剛金艦軍年五十二治明  
りな切に誠情の悼哀るら葬に郷異てしに身の望有途前呼鳴、地墓軍海す蒸若港「エ」は所墓



(二 其) 参 墓  
途 歸 の





(一其) 事工加追の底艦間淺るけ於に「トルマイカスエ」



(二 其)







着到の類食糧りよ地内



炭 載





降の壯勇ぶ偲を戦々海黄  
 すとんは震にめ爲河山の港<sup>エ</sup>



てし發を港<sup>トルマイカスエ</sup>に正り終を事工加追  
 (日三十二月十年四正大)間淺るすとんは向に國母







る入に峽海カフダンヤジ間淺  
む望を臺燈口港エにか遙東關はく續



式禮舷登し際に港出トルマイカスエ  
!「ラフ」!「ブツヒ」!「ブツヒ」!「ブツヒ」  
!歳萬 !歳萬 !歳萬





工 船 關 東 總 員



關 東 工 部 員







上 途 の 吐 布  
す で 出 な 節 四 力 速 び 及 に 度 十 三 揺 動 の 鑑 る 来 難 一 て つ 去 難 一



(一 共) 後 午 の 日 祝 節 長 天



備 準 天 荒







(二 其)



間 浅 の 沖 島 レ イ ャ マ 哇 布





(二 其)  
船 炭 給



(一 其)  
炭 載 の 沖 島 〔イ ッ マ〕 哇 布







(四 其)



(三 其)

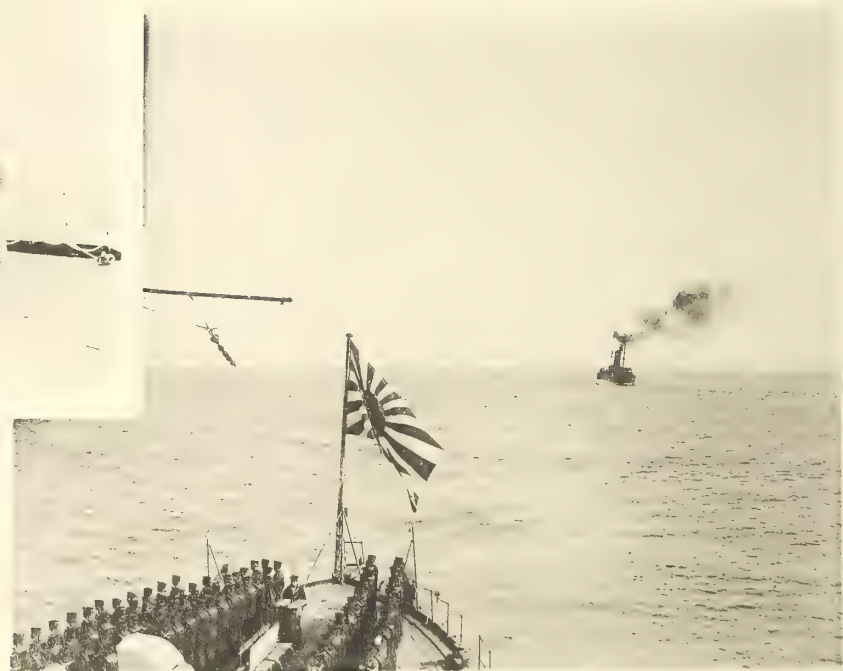




(三 其)  
上 同



(二 其)  
砲 禮 皇



式 拜 遙 の 日 當 禮 大 御 位 即  
(一 其)





すとんせ港入に賀須漢事無日八十月二十年四正大  
(一其) 接迎の機空航軍海



(一其) 上途のへ賀須横りよ哇布濤怒潮狂の洋平太



(二 其)



(二 其)







(三 其)



(四 其)

東關船作工はく續間浅るすとんせ港入に賀須横



大正五年二月二十七日印刷納本

非賣品

編纂者 軍艦淺間編纂委員

印刷者 木澤 孚

東京市本郷區切通坂町二十五番地

不許複製製

印刷所 畫報社

東京市本郷區切通坂町二十五番地  
『海軍發行所』

















EAST-ASIAN LIB. UNIVERSITY OF TORONTO



3 1761 03155 2623

FOR USE IN  
LIBRARY  
ONLY

VM  
383  
A83G85  
1916

RESTRICTED SHELF